



教育目標 進んで学び 心豊かに たくましく生きよう

桜木の下で

第五中ホームページ <https://www.kenet.ed.jp/daigo/>

令和3年度 学校だより第5号

柏崎市立第五中学校

(柏崎市大字宮平96番地1)

TEL 27-2113 FAX 27-2410

令和3年9月17日発行



『ピンチ』を『チャンス』に！！
“Difficulties bring fortunes!!”

柏崎市立第五中学校 校長



新型感染症が終息しない中、ワクチン接種は加速し、

初めて「特別警報」が全県に発令され、何とか学校は再開することができました。

他中学校では、未だに実施できていない修学旅行に加え、体育祭の延期を余儀なくされて困惑しています。本校は5月に無事、修学旅行を終え、9月25日（土）には、ご家族限定ですが「有観客」で体育祭を実施できます。こんな「ピンチ」の中を「チャンス」に換える工夫やポジティブな発想こそ、生きていく上で、最も大切な『生きる力』なのではないかと最近、つくづく実感しています。

小規模校だからこそ、居ながらにして「三密回避」が図れて、大規模校ではおよそ実施困難な学校行事（修学旅行等）も実現可能な柏崎市立第五中学校は、感染症禍をたくましく生き抜くことのできる、現代における『適正規模な学校』と言って良いのではないのでしょうか！？

9月22日（水）学年別総合学習の日【3年市内大学訪問；2年おいな踊り等；1年福祉体験】

10月 7日（木）全校校外遠足【こども自然王国⇒歴史博物館〔プラネタリウム体験〕】

10月24日（日）鯖石ロードレース大会【但し、10月に入り市内感染者発生の場合中止】

11月 7日（日）音楽発表会 / 芸能発表会

他校であれば、上記の学校行事は縮小もしくは中止のところ、今のところ全て実施予定です。もちろん感染状況によっては、本校も縮小か中止もあり得ます。鯖石ロードレースは、10月に入り「一人でも感染者が市内で発生」した場合は、中止なのだそうです。

そこで私たちの誰が、いつ、どこで、感染したとしても決して、誹謗中傷することなく、当事者の気持ちに寄り添って、互いの『命』を最優先に思いやり、先行き不透明なコロナ社会を「五中愛」で支え合い、生き抜いて、皆さん一人一人の『夢』を実現させましょう！！*Dreams come true!!*

学校評価項目の集約結果と考察及び改善策について（前期前半期）

生徒・保護者の皆様からご協力いただいた『学校評価アンケート』の集約の結果とその考察についてご報告いたします。下記の表における数値は、評価質問項目において“肯定的な評価回答（4,3 で回答された評価）”の割合を表したものとなっています。集約された結果を基に、職員の評価も交えながら、五中教職員各担当で分析と考察を行い、後期に向けた改善策について検討しました。今後の教育活動に活かせるよう、努めてまいります。

学校評価の考察と改善策

	評価項目「生徒」「保護者」	生徒	保護者	評価の考察 及び 改善策について
知 (学習指導)	①「学校での授業がよく分かったと感じている」「学校は分かる授業の工夫に努めている」	86%	89%	項目②について、否定的な回答をしている生徒がいました。保護者や職員の数値との乖離から、大人が認識する以上に授業中に自分の考えを表現できていないと考えている生徒が多いことが読み取れます。これまで以上に発表機会を増やすとともに生徒同士がお互いを認め合い、自信をもって考えを発表できるように指導を進めていきます。項目③については、生徒同士が自習内容を紹介し合う活動を継続し、自分にあう自主学習に取り組めるよう支援していきます。
	②「授業の中で自分の考えを積極的に表現できる」「学校は発表・表現の活動を充実させている」	78%	94%	
	③「自分にあった自主学習に取り組んでいる」	67%	67%	
徳 (生徒指導・心の教育)	①「自分には良いところがあると思う」	68%	86%	項目①について低い評価をした生徒も実際は、生徒会活動や学級活動等で集団のため貢献している生徒です。評価の高い項目②の「やりがい」や「達成感」が「自己肯定感」や「自己有用感」につながるような振り返りの方法を学級活動などで工夫して行っています。また、学習に対する自信も影響していると考えられます。個に応じた指導・支援を継続していくこと、どの生徒に対しても頑張りを認める声掛けの機会を逃さずに行うことを全職員が心掛けて学習指導を行います。
	②「活動後のやりがいがある、達成感がある」「学校はやりがいや達成感をもてるよう努めている」	97%	92%	
	③「先生は私たちのことをよく見てくれている」	94%	97%	
	④「学校に何でも話せる人がいる」「学校は話しやすい環境を整えている」	85%	94%	
体 (健康・体力)	①「ハッピーライフ宣言を生かして生活しようとしている」(※小中一貫項目にもあります)	50%	69%	項目③については、体育授業や運動部活動での取組が功を奏していると考えられます。実際に、昨年度の自分の体力テストの記録を上回った割合は80%でした。今後も体育授業を基本にしながら、体育的行事等を通じてたくましく生きる力を養っていききたいと思います。項目①については五中生の課題と言えます。学校保健委員会を中心に意識を高める取組を実施してはいますが、期間を過ぎると元に戻り定着しません。心配な生徒に対してピンポイントで声掛けや継続的な指導をするなどでできればと考えています。
	②「目標達成のために方法を考え、粘り強く取り組んだ」「五中生は目標達成のために粘り強く取り組んでいる」	56%	94%	
	③「前年度より体力が向上している」	78%	86%	

小中一貫教育評価の考察と改善策

	評価項目「生徒」「保護者」	生徒	保護者	評価の考察 及び 改善策について
学びづくり	①「自分の決めたためあての時間まで家庭学習に取り組んでいる」	44%	53%	項目①では低評価の生徒が複数いました。学年部職員を中心とした毎日の家庭学習チェックをさらに丁寧に行い、生徒それぞれの生活に合った家庭学習の目標設定を支援していきたいです。ご家庭との連携が不可欠な項目ですので、今後もご協力のほどよろしくお願いします。
	②「アンケートにおける『話し合う子どもの姿』の肯定的評価」	78%		
生活づくり	①「相手の気持ちを考えて行動している」「学校は相手の気持ちを考えて行動する学びを進めている」	91%	97%	項目④の生徒と保護者の評価がやや低めです。学校保健委員会を「五中学区ハッピーライフ強調週間」の前に位置付け、「眠育のすすめ」について講義いただきました。家庭との連携が欠かせない取組ですので、今後もご協力のほどよろしくお願いします。項目①②⑤⑥については、「仲間づくり活動」や「いじめ見逃しゼロスクール集会」等の実施をとおして、縦割り班活動での異学年との交流、学級や自分の行動目標の設定し、取り組んでいるところです。様々な活動が制限されている中ですが、ねらいを明確に有意義な活動となるように支援していきます。
	②「仲間のよいところを見つけることができる」「学校は仲間のよいところを見つける取組を進めている」	88%	97%	
	③「進んで挨拶することができる」	82%	89%	
	④「ハッピーライフ宣言を生かして生活しようとしている」	50%	69%	
	⑤「五中学区いじめ見逃しゼロ行動宣言を意識して生活することができる」	100%	97%	
地域連携	①「地域のことを学んだり、地域に出掛けて活動したりすることは好き」	58%		統合2年目、依然コロナウイルス感染症拡大防止対応により、様々な地域活動が中止・縮小となっています。当然、「参加」や「進んで取り組む」ということはできないため、評価に反映されています。そんな状況下ですが、地域の方から可能な範囲での支援を受けることができていることが、現在の地域連携の要となっており、引き続き継続したいと考えます。
	②「五中生は地域行事に参加している」		78%	
	③「地域のために自分でできることを進んで取り組んでいる」	61%	78%	

保護者評価アンケート自由記述に関する回答

保護者の皆様からいただきましたアンケートの自由記述の御意見や御質問について、一部抜粋して五中教職員各担当より回答した内容を掲載いたします。

◆学習指導及び学びづくりに関する項目では、自主学習に関する内容や授業に関する御意見をいただきました。また、小学校での異学年活動実績を例に中学校での合同授業について御意見などもいただきました。

直接授業を参観する機会が限られる中、丁寧にご回答いただきありがとうございます。第五中学校では、音楽発表会に全校演奏を披露したり、生徒同士が学年を超え、自主学習内容を紹介し合う活動を行ったりしております。ご意見いただきました通り、小規模校であることを活かして、全校生徒が共に学ぶことができる学習活動を行っていききたいと思います。（知部会・学びづくり担当）

◆生徒指導・心の教育及び生活づくりに関する項目では、五中生のあいさつに関する内容や生活習慣に関する内容の他、生徒同士の関わりや相手の気持ちを考えた行動についてといった御意見をいただきました。また、感染症禍において生徒の活動を直接見るできないという内容の御意見もいただきました。

「いじめ見逃しゼロスクール集会」をはじめ、学校生活の様々な活動を通して、いじめに対する認識を共有して未然防止するための取組を進めています。また、相手の気持ちを考えて行動するためには、相手のことをよく知ることも大切なことのひとつだとして、生徒同士が交流し、親和的な雰囲気を醸成するための活動も積み重ねています。地道ではありますが、このような積み重ねをこれからも継続していきます。

生徒の活動を見ていただく機会や職員と保護者、地域の方々とが交流・意見交換する機会が減り、コロナ禍前に比べ、互いの様子や考えていることがわかりにくい、というところが大きいと感じます。生徒の心身の成長を願う気持ちは皆同じです。何か不安や心配事があれば、いつでもどの職員にでも相談いただければ幸いです。（徳部会・生活づくり担当）

◆健康・体力向上に関する項目では、活動制限下等により体力低下を危惧される御意見等いただきました。

昨年度体力テストの記録を上回った割合は80%と、体育授業や運動部活動での取組の成果が見られます。今後もその部分を基本にしながら、体育祭やロードレース等の体育的行事を通して、運動に親しみ、体力向上に励むたくましい生徒を育てていきたいと思っています。（体部会・生活づくり担当）

◆地域連携に関する項目では、コロナウイルス感染拡大の影響で地域行事が中止になってしまい、この課題が引き続き難しいものであるという内容の御意見を数多くいただきました。

統合2年目、本来であれば旧2中学校区の地域活動が広がりをもつと考えられるところですが、昨年度から続く感染症対策のため、（地域行事だけではありませんが）依然、活動に様々な制限がかかっています。ワクチン接種をはじめ、少しずつ改善が図られている中、可能な範囲での取組を地域とともに進めることができればと考えます。（地域連携担当）

上記以外にも、小中一貫教育の充実についてや校外施設の利用について、外部指導者の活用など多岐にわたる御意見をいただきました。御指摘いただきました内容を受け止め、今後の学校教育活動に反映できるよう尽力いたします。ありがとうございました。

9月25日(土)の体育祭に向けて



新型コロナウイルスが拡大していることから、新潟県は最も厳しいレベルの「特別警報」を県内全域に発令しました。これを受けて市教育委員会指導のもと、感染を抑え、休校を回避するための措置について教育活動の制限がとられることとなりました。部活動については、9月1日から16日までの活動休止及び柏刈新人大会が中止となりました。特別警報該当期間となる行事については延期となり、五中では9月11日に予定していた体育祭は9月25日に延期することになりました。また、感染対策の徹底から、今年度体育祭の参観は生徒の保護者（御家族）のみに制限させていただくこととしました。生徒の練習の成果や五中の様子を地域の皆様に見ていただける機会が減ることとなり、誠に残念ではありますが、予防のためやむを得ずの決断であること、御理解いただければと思います。

令和3年度の体育祭を成功させるため、生徒は日々練習や準備に励んでいます。夏休み期間にも、応援ダンスの振付やパネル作成のため、学校で活動に取り組みました。延期や参観制限などがありますが、五中生は（今年度の体育祭スローガンである）『情熱』を絶やさずに素晴らしい体育祭を創り上げてくれることを信じています。



体育祭準備・練習に励む五中生の様子



主 な 予 定

日 曜	9 月	日 曜	10 月
17金	避難訓練	1金	3年放課後学習開始
20月	敬老の日	4月	あきつタイム
21火	秋の交通安全運動（～30日）	7木	校外遠足
22水	全校総合（1年：福祉体験 2年：おいな踊り 3年：上級学校訪問）	8金	前期終業式
23木	秋分の日	9土	狐の夜祭り
25土	体育祭（※参観は保護者の方のみ）	11月	後期始業式
26日	体育祭予備日	12火	基礎テスト③（数学）
27月	振替休業日	14木	身体計測
29水	3年学習の確認② 全校集会	18月	基礎テスト③（国語）
		19火	生徒集会（後期正副級長認証式）
		22金	基礎テスト③（英語）
		24日	鯖石ロードレース、南鯖石コミセン祭り
		25月	振替休業日
		26火	3年学習の確認③



※9月30日に予定されていた柏刈新人大会は中止となりました。